

にじゅうまる プロジェクト

for Life on Earth 2011 - 2020



守られてるから、守りたい。この星すべての生命。

にじゅうまるプロジェクトとは

私たち「にじゅうまるプロジェクト」は、愛知ターゲットという20の約束を実現するために生まれました。大きな役割は、取り組む仲間たちを探し出し、結びつけること。

これまで、未来のための活動を行ってきた団体や企業の皆さん。これから生物多様性のため何かをしたいと思っている皆さん。20の約束のなかに、あなたが関わることができる約束が、

きっとあります。すでに多くの団体がメンバーとなっています。例えば、ある人たちは森を守ることを通し、ある人たちは製品づくりを通し、ある人たちは農業を通して。それぞれの領域で力を合わせて、20の約束すべてに向き合っています。

一緒に、次の地球を生きる子供たちに、大きな贈り物をしませんか。



Step 01 知る

Step 02 つながりを考える

Step 03 行動を宣言する



メンバー登録のメリット

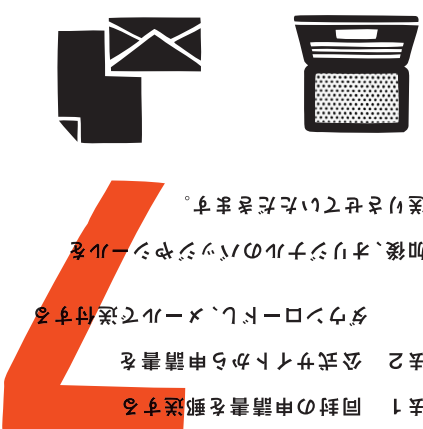
- ・あなたの団体の活動を、地球の生命を救う世界の目標へつなげます。生物多様性条約に貢献している「社会的証明」となります。
- ・さらに、
- ・団体を広報するチャンスが増えます。
- ・ほかの団体とつながり、役立つ情報を共有できます。
- ・たくさんの仲間がいることが、自治体や企業に働きかける力になります。

にじゅうまる member 参加の方法

方法1 同封の申請書を郵送する

方法2 公式サイトから申請書をダウンロードし、メールで送付する

参加後、オリジナルのバッジやシールをお送りさせていただきます。



666666

にじゅうまるプロジェクト 名前の由来

2020年までに、20の約束すべてに、◎の評価を手になしよう。

メンバー同士が、◎を贈り合う気持ちで活動しよう。地球に、大きくて幸せな○を加え、◎になしよう。

— そんなメッセージを込めています。

8

になりませんか

にじゅうまる member @

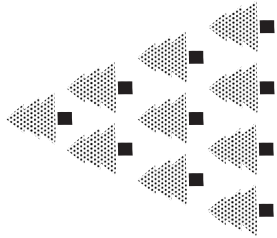
公式サイト bd20.jp ツイッターアカウント @bd_20maru メールのおて先 bd.20.contact@gmail.com

にじゅうまるプロジェクトは、外務省、環境省、経団連自然保護協議会、(財)日本自然保護協会をはじめとする行政、NGOといった多様な主体で構成される、生物多様性を守るために連携するネットワーク「国際自然保護連合日本委員会」の共同事業です。〒104-0033 東京都中央区新川1-16-10 ミトヨビル2F (財)日本自然保護協会内 TEL:03-3553-4109 FAX:03-3553-0139

私たち「にじゅうまるプロジェクト」は、生物多様性のための活動を行っています。
それは、この星と子供たちの未来のための活動。まず、生物多様性と人との関わりの話からしたいと思います。

生物多様性がもたらす恵み

生活、環境、産業、文化…あらゆる領域で、
そのありがたさに気づきにくいほどに、人はいつも他の生命に守られています。



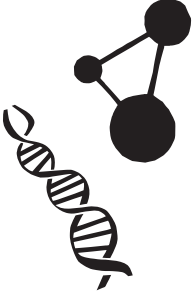
人は、麻や綿、羊毛や蚕のシルクなどの
「生命の恵み」を衣服として身につけて
います。肉や魚・野菜や果実などの「生
命の恵み」を食べることで生きています。



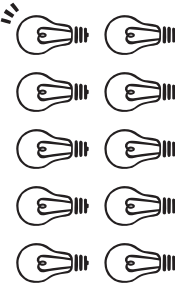
森林は、水源を育てる機能、土砂災害を
防ぐ機能、二酸化炭素を吸収する機能、
などがあります。無計画な伐採で土砂崩
れが起こる例がみられます。



世界の農業生産の75%が、虫が花粉を
運ぶことによって実りを得ています。
農業とは、他の生き物の力を借りること
でもあるのです。



ウイルスによって壊滅した水田が、抵
抗力のある野生種の稲を使った品種改
良のおかげで、復活することができた例
があります。



自然からヒントを得てデザインする産業
分野が成長しています。例えば、トンボ
の羽を真似て、微風でも回る風力発電
の装置が開発されています。

失われていく生物多様性

しかし人は、たった数百年ほどで、豊かな多様性を
大きく損なおうとしています。世界の絶滅危惧の数
は1996年から約1万から約2万へ、ほぼ2倍に
増加しています。



さらに、ダム開発などで山・川・里・海の生命の循
環が途切れたり、ブラックバスなどの外来の生物
が放たれたりしたこと、各地で自然が本来持
つ回復力そのものが失われているのです。

生物多様性の損失は、人類がいま、力を合わせて
取り組まなくてはならない課題です。

地球に生きる生命の条約

生物多様性の問題は、巨大で入り組んでいます。「環境
というスケールで考えなくてはならない」「経済とのバラ
ンスや、各地域の生活とのバランスが問題となる」「原因
がいくつもある」…などの難しさがあります。
この複雑な生物多様性の問題に対応するため、国々が
集まり生物多様性条約が生まれました。

193カ国、地球のほぼすべての国が参加している条約
です。そして、愛知で開催された10回目の会議で20の
約束を決めました。この20の約束を「愛知ターゲット」
と呼び、2020年までに世界が達成することを目標にし
ています。

33333



20の約束

愛知ターゲットは私たちの行動によってこそ達成されるものです。
下は、それらを易しい言葉で書き直したものです。



Project 01
みんなが、生物多様性は大切
なんだと知ろう。その気持ちをも
って、行動しよう。



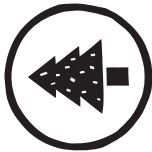
Project 02
国や地方は、生物多様性に
気を配った計画を立てよう。



Project 03
生物多様性に悪い制度は、
やめよう。やめさせよう。



Project 04
環境に無理をさせず続け
られる生産と消費を行おう。



Project 05
森など、生き物が暮らす場所が
失われるスピードを半分で
抑えよう。ゼロを目指す。



Project 06
魚や貝など水産資源は、
これからも無理なく続けられる
ように漁獲しよう。



Project 07
農業・養殖業・林業が
行われる地域を、長く無理なく
活動できるように管理しよう。



Project 08
化学汚染は、有害でない範囲
まで抑えよう。



Project 09
環境に害をあたえる外来種が
増えるのを防ごう。
入ってこないようにしよう。



Project 10
サンゴなど、特に弱い生態系
を守る。



Project 11
陸地の17%、海の10%は、
なにがあっても守る場所
に決めよう。



Project 12
絶滅危惧種を絶滅から防ぎ、
ふつうの種に戻していこう。



Project 13
一つの種の間でも、多様さを
大事にしよう。



Project 14
生態系を守り、自然の恵みが
子どもや食しい人々にも
届くようにしよう。



Project 15
傷ついた生態系を、15%以上
回復させよう。気候変動や、
砂漠化の問題に貢献しよう。



Project 16
生物多様性から得られる
利益は、国や地域を超えて
公正に分配しよう。



Project 17
みんなで参加しながら作戦を
立て、みんなで実現しよう。



Project 18
生き物や自然にまつわる伝統
的な知識を大切にしよう。



Project 19
生物多様性に役立つ知識や
技術を豊かにしていこう。



Project 20
活動を支えるために大切な
資金を、協力を集め増やして
いこう。